



世界の珍しい税金について

大田区立大森第十中学校 三年 中村 博泰

私は、小学生の頃、世界には珍しい税金があることを知って、今回、税についての作文を書くにあたってそのことについて調べてみました。すると、私が想像していた以上に様々な種類の税金があり、その中でも特に印象に残った世界の珍しい税金五種類について説明したいと思います。

一つ目は、ヨーロッパ各国にある犬税です。犬税とは、年に一度犬の頭数に応じて、税金を納めるものです。この税のおかげで、糞害や多頭飼育崩壊を防ぐための管理・迷子犬対策などに役立っています。私は、この税を知った時に、なぜ犬税はあるのに、猫税はないのか疑問に思いました。

二つ目は、ハンガリーで導入されているポテトチップス税です。この税は、ポテトチップスだけに課せられるものではなく、糖分や塩分を多く含む食品にも課税され、国民の肥満防止に役立っています。三つ目は、中国の月餅税です。まず、月餅とは月に見立てたお菓子で、九月の中秋節の日、家族で一緒に食べたり、お世話になっている人や親しい人に贈るのが習慣になっています。そして、月餅税とは、月餅を受け取った人に税金をかける制度です。月餅を贈られた人に課せられる税金ということに驚いたのですが、もう少し詳しく調べてみると、月餅税とは、二〇一一年に中

国で導入された企業が従業員に支給する月餅を現物支給の手当とみなし、個人所得税の課税対象とした税金であることが分かり、個人間で贈り合うのは問題がないことが判明し安心しました。四つ目は、アメリカのウエストバージニア州で導入されている光るおもちゃ税です。おもちゃの光線銃など光を発するおもちゃを対象に課税されます。この税は、子供の頃から銃が身近でない環境を作り、銃犯罪や凶悪犯罪による犯罪率を低下させ、治安を向上させることを目的としています。私は、この税はとても良いものだと思います。アメリカでは一部の地域で銃の携帯が許可されているため、子供の頃から銃を身近にしないのはとても重要なことなのでアメリカ全体で導入されるべき税だと考えます。五つ目は、イギリスのロンドンやアメリカのニューヨークで導入されている渋滞税です。渋滞税とは、市街地など特定地域を通行する車に税金を課します。これは、大気汚染の改善や渋滞の緩和を目的としており、実際に混雑が和らいだりと効果が出ています。この税は、大気汚染の改善もできる可能性があるため、地球温暖化防止にもなると思います。

私は、世界の珍しい税金について調べてみて、税金というものは、国が財源確保のためだけに行っているものではなく、犬税やポテトチップス税のようにその地域が持つ問題を解決するものになっており、個性的な税金が生まれた社会的背景には、その国が何を重視しているのか、どのような問題を抱えているのかを垣間見ることができると思いました。